

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年6月26日 NO.25

オー君 「あ！ゴマダラカミキリだ。それにアオドウガネもいるぞ。さらにクロアゲハもだ。モンタ博士！どうしたんですか。」



ゴマダラカミキリ

モンタ博士「この前、1年1組のこうのさん、すずきさん、ふじたさん、きたじまくん、おまたくんの5人がもってきてくれたんだ。こうのさんがつかまえたらしいよ。」



アオドウガネ

花ちゃん 「へえーすごいですね。アオドウガネはどうしたのですか？」

モンタ博士「2年2組のみぞろさんが見つけてもってきてくれたのさ。」

オー君 「クロアゲハはどうしたのですか。」

モンタ博士「これは、2年2組のさとうくんが見つけたものを、いっしょに標本（ひょうほん）にしたのさ。」



クロアゲハ

花ちゃん 「標本にしたらかわいそうじゃない。」

モンタ博士「標本にすることにより、第二の生命（いのち）をあげられるさ。」

花ちゃん 「でも、モンタ博士、いろいろな虫がいっぱいすぎて、わからないわ。」

モンタ博士「カミキリムシとチョウは、同（おな）じムシだけど、だいぶちがうね。」

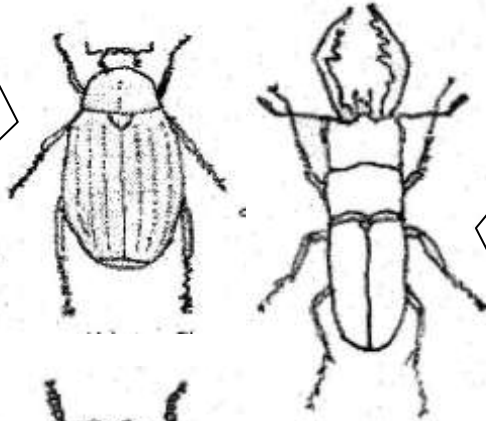
オー君 「カミキリムシとアオドウガネは、同じなかまで甲虫（こうちゅう）だよね。」

モンタ博士「いろいろな虫がいるけど、どんななかまなのか、知ることが大切なのさ。」

いろいろな甲虫目（こうちゅうもく）の虫の特徴（とくちょう）について

コガネムシ科

オスの大アゴは、ツノのようにのびえてかっこいい。カブトムシはコガネムシと同じ生活ですが、コガネムシは成虫まで2年。

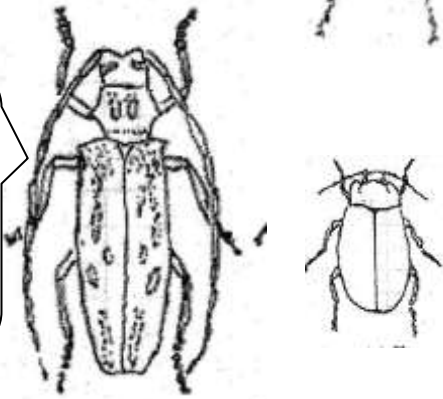


クワガタムシ科

ひげの先が歯ブラシのようにかた側にのびているんだ。足には、とげのれつがあるのが特徴さ。かっこいいムシだろう。

カミキリムシ科

わたしたちの幼虫は、木の中にすんでいて、てっぼうムシともよばれます。ひげのようなのは、触角（しょっかく）といいます。

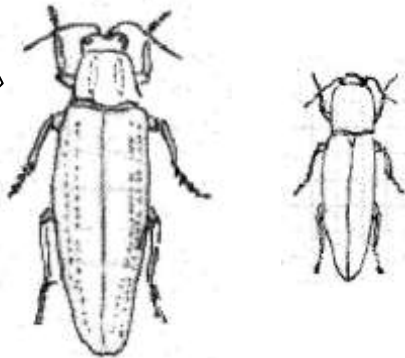


ハムシ科

どうしてハムシかというと、それは、植物の葉やねっこを食べるからなんです。わたしたちは、みんなミニサイズです。

タマムシ科

タマムシはまだ国立にいるそうで、うれしいです。体が細長くスマートです。昆虫の中で、美しさのナンバー1です。

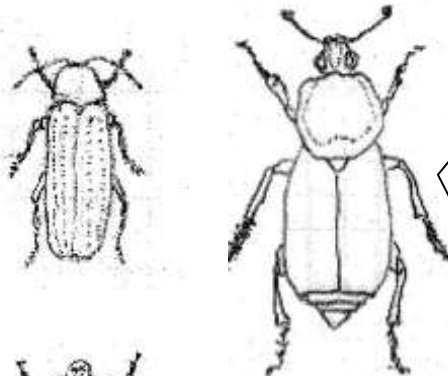


コメツキムシ科

前のむねが大きくまがります。あおむけになると、前のむねを使って強くうちつけてとびあがり、おきあがれるんだ。

ホタル科

光を発する昆虫として有名でしょう。たまごや幼虫も光るんだ。でも、まったく光らない仲間もたくさんいるのでよろしく。

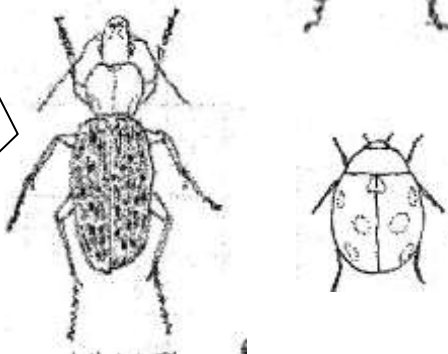


シテムシ科

動物や小鳥のくさった肉を食べているさ。そして、土にうめてしまう大切な仕事もしてるよ。ひげの先がふくらむのも特徴。

オサムシ科

私たちは、後ろ羽がなくなっちゃったものが多くて、飛ぶよりもちょこちょこ動くのが得意なのさ。



テントウムシ科

半円球の形です。こうげきされると、足のかんせつから黄色いえきを出してはんげきします。アブラムシを食べるよい昆虫です。